

# 2007年「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」 《講義録3限目》-1/2

投稿者：中村 俊光

開催月日：2007年10月18日(木)  
開催時間：14:00～16:00  
開催場所：KUポートスクエア

## 第3回 地震はどうして起こる？

1. 講座／講師：荻本 孝久(えのもと たかひさ)  
神奈川大学工学部建築学科 教授

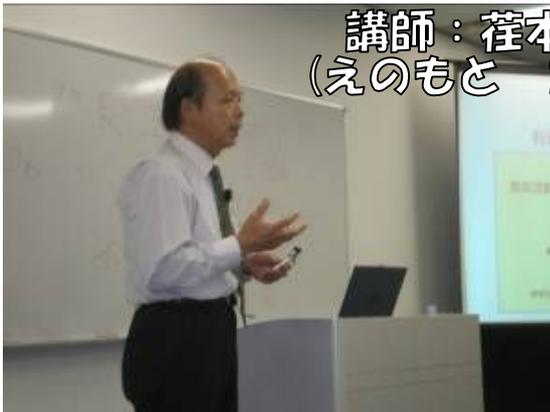
テーマ：地震はどうして起こる？  
-地域の地盤環境に関する基礎知識をもつ-

2. ワンポイント：  
防災グッズ(日常携帯品・備蓄品)について②  
池田邦昭、中村俊光

総合司会：高橋 徳美  
(たかはし のりみ)

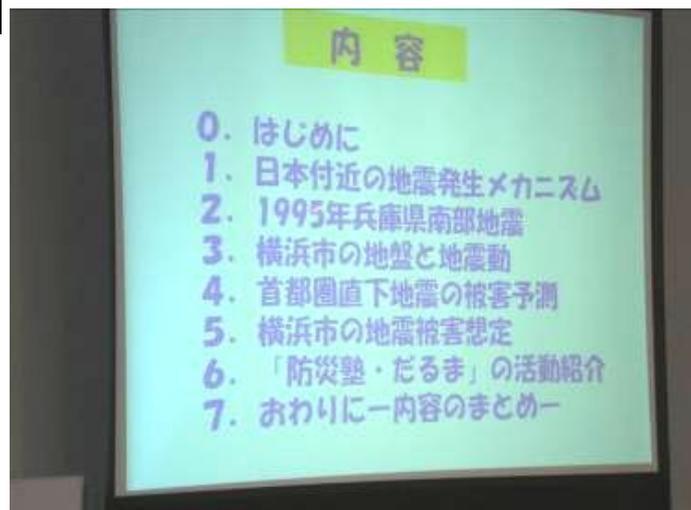


講師：荻本 孝久  
(えのもと たかひさ)



### 《地震はどうして起こる？》

◆①4つのプレート運動：日本は大陸性プレート(北米、ユーラシア)と海洋性プレート(太平洋、フィリピン)の境界に位置しており、海洋性プレートが年に数センチ動いているため、日本には数多くの地震が発生する。海溝型巨大地震(M8級)と内陸型大地震(M7級)がある。◆②地震の揺れと地盤の関連性→共振現象と液状化現象：深部地盤構造→長周期地震動→超高層ビル、石油タンク等の被害/浅部地盤構造→短周期地震動→住宅、マンション、事業所等の被害が発生する。◆③地盤の卓越周期と建物の固有周期はイコールで共振現象を起こす。◆④局所的に大きな被害を与える地盤の液状化現象：埋立地、沖積低地、河川敷、後背湿地など→砂質地盤・地下水→液状化現象が起こる。◆⑤被害のイメージを知る→首都圏・県・市・区：局所的な被害(地盤の液状化、斜面崩壊等)、老朽化による耐久性の劣化、既存不適格建築物等の見極めが必要である。



講習も3限目を迎え、受講生にもリラックスムードが。荻本教授の締め言葉で「情報は色々な処にある。要は自分から取りに行かないと何も始まらない」との言葉に納得。

